

# 東交通安全情報No.2「東警察署管内」交通事故実態(4月)

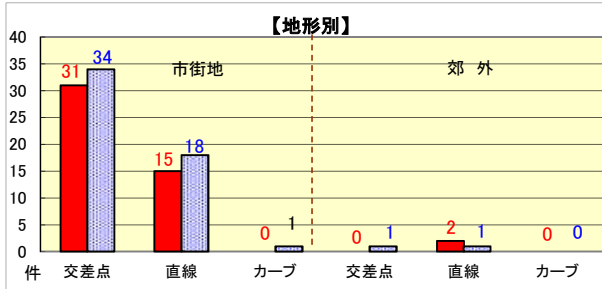
【交通事故発生状況】(令和元年～令和5年の各年4月)

区分/年別	令和元年	2年	3年	4年	5年	合計	平均
人身発生件数	56	24	45	55	48	228	46
死者数				1		1	
傷者数	60	25	47	59	59	250	50
物件事故	421	335	387	501	380	2,024	405

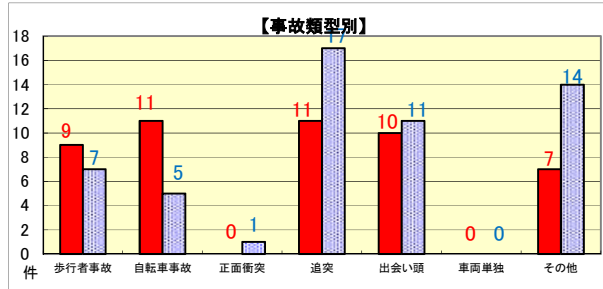
- 令和5年は、前年と比べ傷者数は同数であるが、発生件数は人身事故・物件事故ともに減少している。
- 令和4年4月午後7時台に道路横断中の高齢女性×普通乗用自動車の交通死亡事故が発生している。

■ ~ 令和5年    ■ ~ 令和4年

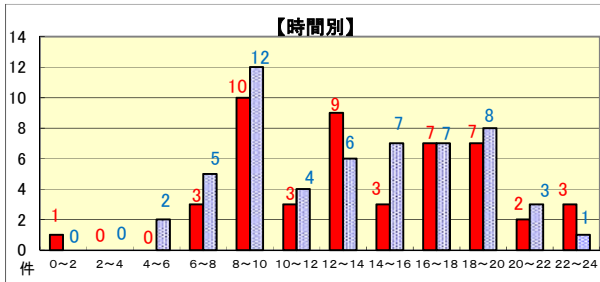
## 人身交通事故の主な特徴(令和5年と令和4年の4月中)



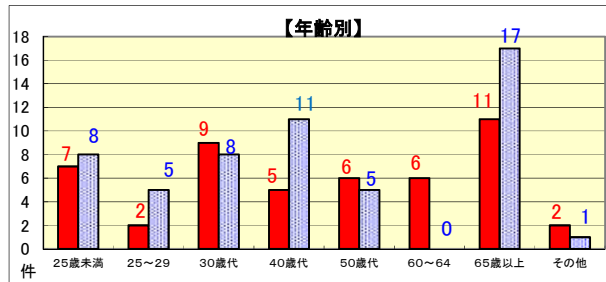
- 令和5年令和4年ともに市街地における交差点での事故が多く、令和5年の交差点事故は全体の64.6%である。



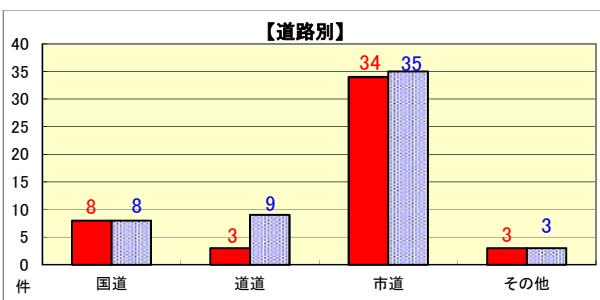
- 令和5年は令和4年と比べ、歩行者・自転車事故が大きく増加しているが、車両同士の事故は減少している。



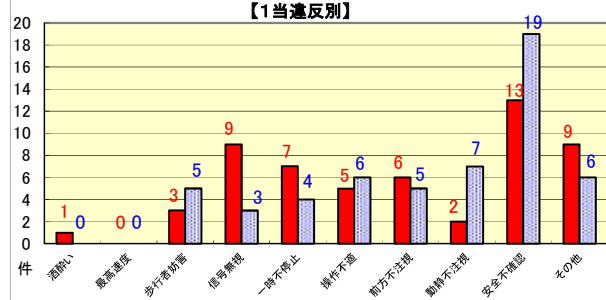
- 令和5年は令和4年と比べ、12時～14時、22時～2時が増加、他の時間帯の発生は、同件もしくはは減少している。



- 令和5年は、40歳代と65歳以上の発生が大きく減少しているが、60～64歳の事故の増加が目立っている。



- 令和5年令和4年ともに、市道での事故が多く、全体の約70.8%を占めている。道道での事故は令和4年を大きく下回っている。



- 令和5年は令和4年と比べ、信号無視・一時不停止の交通違反からの事故の発生が増加しており、飲酒による事故も発生している。



「かもしれない運転」で危険を予測

歩行者保護に努めましょう